



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする子どもの育成」

夢に向かって 今を元気に 人に元気を与えられるように ～ゴールボール金メダリスト小宮正江さんをお招きして～

アテネ、北京、ロンドン、リオデジャネイロ、そして、パリ。5回のパラリンピックに出場し、2012年のロンドンパラリンピックでは、金メダルを獲得した、ゴールボールの日本代表選手、小宮正江選手をお招きして、ゴールボール体験と小宮さんのお話から学ぶ授業（スポーツ庁委託事業）を行いました。

まず、2校時に3・4年生が、小宮さんからゴールボールのことや小宮さんご自身のことについて、お話をお聞きしました。3・4年生の子どもたちは、ゴールボールについて少しは知っていましたが、これまでのパラリンピックの映像なども交えて教えてくださったので、とてもよく分かりました。

その後、他の学年の子たちも見学して、ゴールボールのデモンストレーションがありました。

そして、3校時。4年生がゴールボールの体験をしました。3人が1つのチームになって試合をしました。目が見えない状態で行うために、アイシェード（目隠し用ゴーグル）をして、中に鈴が入っていて音でボールの位置がある程度分かる本物のボールを使用しました。コートのはしらはバレーボールコートと同じなのですが、見えないので線が分かりません。そこで、太い糸をラインテープで貼り付けて、触れば分かるようにしました（実際と同じです）。

いよいよ試合開始。音ですべてを判断しなければならないので、「静かに。」と言わなくても、プレーをしている子は全神経を耳に音に集中させます。周りで見ている子たちも協力して、音や声を出しません。みんな要領をつかみ、どんどん上達していきました。しかし、自分がどっちを向いているかが分からなくなります。その目印としても糸のラインがあるのですが、それでも難しく、最初からラインから出てしまう方向に向かって投げてしまっている子もたくさんいました。でも、これは無理ありません。それだけ難しいのです。ボールが縦のラインの外にいる小宮さんの方に飛んでいってしまったことが何度もありました。しかし、その度に小宮さんは、自分の方に飛んでくるのを察知して、完璧なタイミングで足でトラップしていました。さすがパラリンピックゴールボール金メダリストです。感動しました。

4年生の子どもたちのプレーもどんどん上達し、強いボールを投げるのができたり、サッカーのゴールキーパーのように身を投げ出してボールを止めたりする子も出てきました。（よく止めていた子に聞いてみると、サッカーチームでゴールキーパーをしているそうです。納得！）

最後に、小宮さんのお話をお聞きしました。強く心に残った言葉です。

「ゴールボールと出会って、目標を持つ喜びを知った。」

「23年間も続けることができているが、もっともっと強くなりたい。」

「コミュニケーション力…伝え合うこと、相手の思いを感じる事が大事。」

「【あいうえお】を大事にしている。

ありがとう

いっぴいっぴい…踏み出すと周りの人が助けてくれる。

うきうき・わくわく…うれしいこと、楽しいことをする。

えがお…口角を上げる。笑顔になれる。笑顔をつくる。元気になれる。

おおきな声であいさつをする」

「できないことを考えるよりも、できることを増やしたい。」

「夢に向かって、今を元気に、人に元気を与えられるように。」

校長室でお話をさせていただきましたが、子どもたちの、話を静かに聞く様子やゴールボール体験に真剣に取り組む様子に感心し、ほめてくださいました。見えなくても、分かるのだなあと思いました。

最後に、色紙へのサインをお願いしました（子どもの頃の視力は、周りの子と変わりなかったけれど、目の病気のため徐々に視力を失ったとお聞きしていたので）。色紙の中の文字を書く位置はアシスタントの方に教えていただいていたのですが、子どもたちへのメッセージとお名前を、力強い字で書いてくださいました。私たちも『挑戦』し続けていきたいと思えます。

